



エストニア 「デジタル・ガバメント」視察研修

2020年5月31日(日)～6月4日(木) 5日間

※写真はイメージです

視察のポイント

本視察研修では、デジタル・ガバメントの最先端国家の一つであるエストニアを訪れ、e-Governance Academy (eGA) が監修する研修プログラムに参加します。デジタル・ガバメントの設計・運営に携わった実務家や電子ID・サイバーセキュリティなど各分野の専門家による講義、省庁やスタートアップ関連施設等の視察を通じて、デジタル化の進んだ社会を肌で感じられるプログラムとなっています。

※e-Governance Academy (eGA) について：

エストニア政府、国連開発計画（UNDP）、オープンソサエティ財団（OSF）が2002年に共同設立した非営利のシンクタンク兼コンサルティング組織。これまでに90か国以上でデジタル・ガバメント関連事業に従事している。

募集要項（抜粋）

- 期間 2020年5月31日(日) ～ 6月4日(木) 【4泊5日】
- 訪問都市 エストニア共和国タリン市
- 利用言語 英語（通訳はつきません）
- 募集人員 **25名**（最少催行人員 15名）
- 旅行代金 **現地集合・現地解散 おひとり様 340,000円**
スマートシティ・インスティテュート正会員A特典利用の場合 68,000円

<代金に含まれる費用>

- ・ 事前勉強会参加費（4月または5月に東京にて開催）
 - ・ 視察研修プログラム参加費、視察研修中の移動費
 - ・ 宿泊費用（1名様1室利用／利用ホテル：オリジナル・ソコス・ホテル・ヴィル等）
 - ・ 食事（朝食4回、昼食4回、夕食1回）
- （現地までの航空券等の移動費はご参加者負担となります。）

- 添乗員 同行しません。現地係員がお世話いたします。
- お申込み締切 **2020年4月10日（金）** 定員になり次第締め切ります。

スケジュール（案）

- * 内容は変更となる可能性もございます。ご了承ください。
- * 6月1日～4日は eGAにおける講義及び関係機関視察です。

5月31日(日)	タリン市内ホテルに各自チェックイン 【タリン泊】
6月1日(月)	午前9時頃：ホテルにて集合 <ul style="list-style-type: none">・ エストニアのデジタル化の歴史・背景に関する講義・ 電子認証・電子署名に関する講義・ 閣議室訪問 - 政府内の意思決定に関わるデジタルツールの説明 など 【タリン泊】
6月2日(火)	<ul style="list-style-type: none">・ 経済通信省訪問 - 経済通信省の役割、サイバー・セキュリティに関する説明・ 情報化社会における法的枠組みに関する講義・ 医療情報システムe-Healthに関する講義 など 【タリン泊】
6月3日(水)	<ul style="list-style-type: none">・ 内国税関税局訪問 - エストニアの税制及びeソリューションに関する説明・ 登記情報センター訪問 - 法人登記システムに関する説明・ 市民向け電子行政サービスのデモンストレーション など 【タリン泊】
6月4日(木)	<ul style="list-style-type: none">・ タリン工科大学Mektory訪問 - 大学発イノベーションに関する説明・ スタートアップ関連施設訪問・ 民主主義におけるICTの役割に関する講義 など 午後3時頃：プログラム終了後、タリン市内にて解散

お申込み・お問い合わせ

旅行企画・実施 (株)日経カルチャー 旅行本部 旅行センター

観光庁長官登録旅行業第1946号 / 総合旅行業務取扱管理者：田木 茂 / (社)日本旅行業協会正会員 / 旅行業公正取引協議会会員

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-6-6MIFビル2階

TEL：03-5259-2990 営業時間：9:30-17:00（土日祝休）

Email：smartcity@nikkeicl.co.jp メール件名に「5月エストニア視察研修 申込」とご記載ください

- ※ 詳しい旅行条件を記載した書面をお渡しますので、事前に確認の上お申込みください。
- ※ 総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関しご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱管理者にお尋ねください。

【プロデュース】一般社団法人スマートシティ・インスティテュート
【旅行企画・実施】株式会社日経カルチャー



日本経済新聞社グループ (株)日経カルチャー

視察の魅力

エストニアのデジタル・ガバメント推進に実際に関わった政府関係機関や企業を訪問し、直接当事者から話を聞くことができる点が、本研修の大きなポイントとなっています。政策、法規制、政治、文化、歴史といった背景から、実際に市民が使っているサービスまでを包括的に学び、エストニアでデジタル・ガバメントが成功した理由を着実に理解できるよう設計しています。

■ 現地講師によるインタラクティブな講義



■ 現地関連機関の視察（2019年実施時）



エストニアの閣僚が毎週会議を行う
閣議室を訪問



タリン工科大学のインキュベーション施設
Mektoryを訪問



スタートアップ施設 Lift99を訪問



現地企業を訪問

※写真は過去の視察研修の様子です

■ 知識・経験豊富な講師陣（講師、プログラムは変更になる場合がございます。ご了承ください。）



Arvo Ott
eGAイグゼクティブ・ディレクター
2005年まで国家情報システム局長
として国家の電子政府戦略を担当。



Liia Hanni
eGA e-Democracy専門家
1992から1995年まで改革担当
大臣を務める。



Katrin Nyman-Metcalf
eGA 法制度専門家
ICT関連法を専門とし、タリン工科大学においても教鞭をとる。

- その他、e-Health専門家 Madis Tiik氏（医師、Terviseagentuur CEO、タリン工科大学プロジェクトマネジャー）、e-Cabinet 担当者 Aivar Rahno氏（Head of Government Office）等、エストニアのデジタル・ガバメントに携わる実務家から説明を聞くことができます。

過去の参加者

本視察研修は、これまでに三菱UFJリサーチ&コンサルティングがプロデュースしてきた視察研修をもとに、より現地の実感を体感できるように設計しています。

- 三菱UFJリサーチ&コンサルティングでは2019年1月、4月、10月の3回にわたって視察研修を実施し、のべ50人が参加しました。IT・ソフトウェア、金融、電気・電子機器、小売、行政、食品、医療・福祉など、様々な業界からの参加がありました。
 - 参加者の所属団体：総務省、日立製作所、三菱商事、日本IBM、日本経済新聞、ネスレ日本、デジタルプラネット、日本ユニシス、日建設計 等

■ 過去の参加者の声（アンケートより一部抜粋）

『百聞は一見にしかず』という言葉がぴったりあてはまる貴重な5日間でした。

（メディア・男性）

エストニアの歴史や法律、体制、戦略、システムに関して、総合的に受講することができました。

（電気機器・男性）

得られた経験を様々な業界の方と日々ディスカッション出来た事が大変素晴らしく感じました。

（IT・男性）